



連合長崎
会長 高藤 義弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

連合長崎で会長を務めています「高藤」です。2021年10月の第28回定期大会から新体制でスタートし、皆様方のご理解とご協力により、何とか折り返し2年目を迎える事が出来ました。ここに改めて厚く御礼を申し上げます。

本年も、まだまだ新型コロナの影響がありますが、感染防止に細心の注意を払いつつ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、邁進して参ります。

関係各位の旧に倍するご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新年にあたり、3点について申し上げます。

はじめに、2023年春季生活闘争ですが、私たち労働者は物価高・円安・コロナ禍の三重苦の中にあり、その影響は、中小企業労働者や非正規雇用で働く方など、より弱い立場の人ほど多く受けています。また、日本の実質賃金がマイナスで推移している中で、賃金が物価に追いつかない状況が長く続けば、内需の6割を占める個人消費が落ち込み、世界経済の減速とあいまって、深刻な不況を招く恐れがあります。これら課題克服のためにも、今次闘争の「賃上げ5%」を全力で勝ち取らなければなりません。

しかし一方では、労働者の7割をしめる中小企業において、エネルギー・原材料価格の高騰は、企業収益を圧迫しており厳しい状況にあります。連合長崎は、賃上げができる環境整備のために、「中小企業支援の拡充」や、「急激な原材料価格の高騰を適切に価格転嫁できる制度構築」などの緊急要請を行うとともに、社会的な賃上げ機運を高める街宣行動など、全国の仲間と共に取り組んでいきます。

次に、政策実現に向けた取り組みについてです。本年4月には、統一地方選挙が施行されます。連合



2023年1月

長崎としての推薦候補者を確認し、複数の候補者を抱える選挙区では支援組織の割り振りを行い、1人区選挙区では全組織で支援する体制を確認いたしました。

私たちの生活や取り巻く環境は、4年前より悪化していると言わざるを得ません。その改善のためにも、生活者の視点に立った推薦候補者の勝利は必要不可欠です。

また、国政においても内閣支持率が3割程度まで落ち込んでいるため、衆議院選挙も視野に入れなければなりません。まずは直近の統一地方選挙での完全勝利をめざし、全組織の総力を挙げたご支援ご協力を宜しくお願いします。

最後は、核兵器廃絶の取り組みです。昨年、ロシアがウクライナに侵攻する衝撃的な出来事が発生し、今なお戦争状態が続いています。あろうことかロシアは、核兵器の使用もちらつかせています。一昨年の「核兵器禁止条約」の発効をないがしろにするもので、遺憾の意を強く表し早期の終戦を求めます。

連合長崎は、被爆地長崎の労働組合として、連合本部・連合広島と連携し、戦争のない世界と核兵器廃絶の取り組みを強化するとともに、その想いが世界に広まるよう発信力を強めていきます。

2023年が、組合員の皆様にとって、ご家族ともに幸多い年となりますよう祈念いたします。



日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

誰一人取り残されることのない包摂に満ちた一年を

皆さま、明けましておめでとうございます。

日頃からの連合運動へのご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

コロナ禍の下で4度目の新年を迎えました。コロナウイルスとの闘いは、3年におよんでもなお、その克服を見るに至っていませんが、医療をはじめ、人々の生活を支える様々な分野で多くの皆さんが懸命に努力を重ねていただき、最近では、ようやく社会経済活動が正常化しつつあるように感じております。引き続き、感染防止に努めながら、この間の経験と知見を踏まえた新しい運動様式に引き続き挑戦して参りましょう。

昨年来、「コロナ禍、物価高、円安」の「三重苦」が私たちの日々の生活を苦しめ続けています。特に弱い立場・不安定な立場にある仲間の雇用と生活に深刻な打撃を与えており、連合にはそうした方々から、くらしの窮状を訴える相談も寄せられています。新年をお祝いしながらも、年末年始を寒さと苦しさの中で過ごした方々へも心を寄せましょう。連合が、すべての働く方々はもちろんのこと、困難な状況にある方々の「必ずそばにいる存在」となれるよう、誰一人取り残されることのない包摂に満ちた一年を実現できるように年頭にあたり皆で決意を新たにしましょう。

そのような中、2023春季生活闘争の基本方針として28年ぶりに賃金要求指標を5%としました。この方針は、2014闘争から積み上げてきた「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの上に、現下の状況を総合的に勘案したものです。あわせて、「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」もスタートさせ、社会全体での賃上げに向けた機運づくり、すべての働く人の雇用と生活をまもる政策の実現、地域での支え合い・助け合いをすすめて参ります。

一方、今期掲げた連合運動の取り組み課題に関して、世界経済フォーラムが2022年7月に発表した各国のジェンダーギャップ指数では、日本は146か国中116位という結果でした。多様性を重んじる労働運動だからこそ、あらゆる分野に先んじてジェンダー平等が実現されていかなければなりません。そのためには、身近なことから少しずつ変えていく取り組みが必要です。私たち自身がけん引役となって、誰にとってもより良い社会となるよう努力して参ります。そのような中、昨年開催されたITUC世界大会において、新会長に連合参与の郷野晶子さんが就任されました。同時に、ITUC女性委員会委員長には、連合の則松副事務局長も選出されました。世界と日本の労働運動において女性がトップを務めることとなり、改めて身の引き締まる思いです。連合としても精一杯、その取り組みを支えて参りたいと思います。

さて、12年前の東日本大震災から干支が一回りしました。大災害や疫病によって社会や人々の価値観が変わってきたように感じます。私たち連合は、「たとえ今後どのような社会の変化が起ころうとも、未来に向かって挑戦し、希望あふれる未来へと変えていくことができるのは、私たち自身である」と記した「連合結成30周年の決意」を胸に、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて取り組んで参ります。卯年にあやかり、連合運動がより一層、跳躍することができますよう皆さまのご支援をお願いします。本年が皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。ともに頑張りましょう！



立憲民主党
長崎県総支部連合会
代表 山田 朋子

新年あけましておめでとうございます。日頃よりの立憲民主党長崎県連へのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、昨年は「第26回参議院議員選挙」におきまして、私共の公認候補の「白川あゆみ」に対し、連合長崎を中心に各政党、団体の皆様方に力強いご支援をいただきましたことに、重ねて心より、感謝申し上げます。結果と致しましては、私共、県連の力不足により、ご期待に沿うことが出来ず、大変申し訳なく思っております。しっかりと総括をおこない、来るべき国政選挙に備え、挙党一致体制の下、取り組んで参ります。

まずは、今春行われます「統一地方選挙」において、連合長崎から、ご推薦をいただきましたすべての候補者の当選に向け、力強いご支援を何卒、引き続き、宜しく申し上げます。

結びに、連合長崎の更なるご発展と連合長崎に集うすべての皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



国民民主党
長崎県総支部連合会
代表 **西岡 秀子**

初春のお慶びを申し上げます。

日頃より高藤会長様をはじめ、皆様には大変お世話になっております。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が発生し、大変深刻な事態が長期化しています。ロシアが核による威嚇を続ける中で、唯一の戦争被爆国として我が国が国際社会で果たすべき役割は大変重要です。国内においても、ウクライナ危機が拍車をかけた燃料油・エネルギー、物価高騰が、県民の暮らし、地域経済を直撃しています。その一方で、実質賃金はあがらず年金額も減額されています。わが党は所得連動型の10万円のインフレ手当の給付や家計減税等、他党に先駆けて「緊急経済対策」を取りまとめると共に、教育・科学技術予算の倍増など「人への投資」を政策の柱として「給料があがる経済への転換」に取り組んでいます。特に、コロナ禍の長期化により、子ども・女性・非正規労働者等、社会的に弱い立場の方々を中心に深刻な影響を受け続け、格差が拡大しています。社会や雇用におけるセーフティネット機能の強化が急務であり、デジタル、グリーン化による社会の大きな変革の中で、リスキングを含めた人材教育の体制整備も急がれます。今後とも働く事を軸とする安心安全な社会実現の為に、皆様と共に全力で取り組んでまいります。来たるべき統一地方選挙に向けて、県連代表として先頭に立ち、勝利へ向けて全力で頑張っておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。連合長崎の益々のご発展と新しい年が皆様にとってより良き一年となります事をお祈りして、年頭のご挨拶と致します。



社民党長崎県連合
代表 **村上 信行**

皆様には健やかに新年をお迎えのことと存じます。

コロナ禍の厳しい環境のなかでの活動に心から敬意を表しますとともに、昨年7月の参院選をはじめ、社民党へのご支援・ご協力に厚く感謝申し上げます。

コロナ禍、物価高騰など国民生活が一層厳しさを増すなか、敵基地攻撃能力の保有、防衛費の増大など、専守防衛を逸脱する軍事拡大が強行されようとしています。社民党は、引き続き、憲法改悪を許さず、格差と貧困の解消、年金や医療など社会保障の充実をはじめ、「いのち」と「くらし」「平和」を守る政治の実現をめざすとともに、コロナ禍や物価高騰で打撃をうけている市民生活への支援の拡充、働く環境改善へむけて全力でがんばります。

今春の統一自治体選挙では、社民党は県議選・市議選に現職8人を擁立して闘います。皆様の力強いご支援を重ねてお願い申し上げます。

人々がともに生きる共生社会、憲法の基本理念を活かし、平和と人権、いのちの尊厳が守られる社会と政治の確立をめざし、本年もともにがんばりましょう。



衆議院議員(長崎3区)
山田 勝彦

あけましておめでとうございます。

高藤会長をはじめ連合長崎の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より大変お世話になり心より感謝申し上げます。

さて、昨年の「第26回参議院選挙」において、私ども立憲民主党の白川あゆみに対して力強いご支援を頂き、誠にありがとうございました。

私も多くの国会議員と共に「連合フォーラム」に参加し、働く人や生活者の視点に立った政策の推進に向け、日々取り組んでおります。春には、統一自治体選挙が行われます。連合の皆様が掲げる「働くことを軸とする安心社会」を実現するためにも政治の力が必要です。推薦候補者全員当選に向け、党内一丸となり全力で挑んで参ります。引き続きのご指導、ご支援を何卒よろしくようお願い申し上げます。

結びに、連合長崎の更なる発展と全ての組合員とそのご家族皆様の健康とご多幸を祈念申し上げ、私からの新年のご挨拶と致します。



衆議院議員(長崎4区)

末次 精一

今後とも、皆様のご指導を賜りながら、初心を忘れず、ぶれる事なく、まっすぐに職責を果たして参りますので今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

連合長崎の益々のご発展と組合員ご家族の皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。連合長崎の皆様におかれましては、ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より高藤義弘会長をはじめ、役員、組合員の皆様には、温かいご指導、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。一昨年の衆議院議員選挙において皆様のご力強いご支援により初当選させていただいてから、1年2カ月が過ぎました。格段のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

現在私は、国土交通委員会、地方創生に関する特別委員会に所属し、また、党の部会、超党派の議員連盟を通じて、我が国が直面する諸課題に全力で取り組んでおります。

今後とも、皆様のご指導を賜りながら、初心を忘れず、ぶれる事なく、まっすぐに



長崎県退職者連合
会長 上田 順一

連合長崎に結集する組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。日頃から連合長崎の皆様方には、ご指導とご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

岸田政権ですが、国葬問題に始まり、旧統一教会問題法相の失言、政治と金の問題など失態続きで、内閣支持率は下がったままです。野党の奮起を期待したいと思います。ロシアによるウクライナ侵攻、プーチンの蛮行は続いています。世界の良識と結束でプーチンを抑え込むしかありません。

中央組織・連合は、物価の上昇と実質賃金の目減りを背景に、今年の春闘の賃上げ目標を「5%程度」と発表しました。組合員の期待は大きいものがあります。

今年は統一地方選の年です。連合長崎推薦候補の全員の当選に向け、現退一致で全力を傾注しましょう。今年も皆様方のご健闘を心よりご祈念申し上げます。



長崎県知事
大石 賢吾

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、長年の悲願でありました西九州新幹線が、9月に開業を迎えました。新幹線の開業は、地域や産業の振興にとって大きなチャンスであり、開業効果の最大化に向け、官民一体となって、観光客の受入体制の充実や本県魅力の情報発信などに取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症については、様々な感染拡大防止対策に取り組んできました。今後も、社会経済活動の持続とコロナとの共生を図るための施策を積極的に講じてまいります。

本年における重点的な取組として、全世代の豊かで安全・安心な暮らしの確保にも努めてまいります。医療・福祉・介護等の充実や人材確保とともに、「長崎健康革命プロジェクト」を推進し、健康長寿日本一を目指します。また、自然災害の激甚化や頻発化に対応するため、地域や県民の防災力を高め、災害に強い社会基盤の整備など、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策にも取り組めます。

また、デジタル社会の進展を見据え、国境離島等における先端技術を活用した地域課題の解決や先進事例の創出など様々な分野におけるデジタル化やDXにより「長崎県版デジタル社会」の実現を目指します。

本県は100年に一度の変革の時期を迎えております。これをチャンスとして捉え、様々な取組を通じて、「新しい長崎県づくり」「選ばれる長崎県づくり」の実現に向け、皆様と意思を一つにしながらかつてまいります。結びに、本年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

連合ながさきユニオン定期大会

ユニオン結成10年に向け、次のステージへ

連合ながさきユニオン第10回定期大会が2022年11月23日(水・祝)に地区労会館2階大会議室で開催されました。今大会も、コロナ禍であることを踏まえ規模縮小での開催となり、2022年度の一般経過報告や会計決算、会計監査報告等を行った後、2023年度の運動方針、予算等が確認されました。

連合ながさきユニオンは「1人でも加入できる労働組合」として2014年3月29日に結成され、組合員11人でスタートしましたが、現在約30人の組合員の方がいます。突然の解雇やパワハラなど厳しい労働環境の中で組合員となり交渉を重ねながら、解決に向けて頑張っています。誰にも相談することが出来ずに劣悪な環境で仕事を余儀なくされている働く仲間がたくさんいる現状から、「連合ながさきユニオン」の社会的役割と使命はますます大きくなっています。

これからも、各構成組織・各地協のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



長崎大学との寄付講座贈呈式実施

～学生に労働組合の役割を求めて～



2022年11月24日(木)長崎大学経済学部へ寄付講座の贈呈式を行いました。寄付講座は次世代を担う長崎大学の学生に対して、労働の在り方や労働組合の役割に理解を深め、職業意識を高めてもらうことが目的で、毎年4月から7月末までの約4か月で14講座を実施予定です。



生活困窮者支援のための緊急要請を実施!

12月19日(月)長崎県に対し、「生活困窮者支援に関する緊急要請」を行いました。

日本は今、コロナ禍に加え急激な物価高などにより、弱い立場・不安定な立場にある労働者が特に大きな影響を受けています。

この要請は、そうした方々の暮らしをまもり、賃上げの社会的機運を作るために連合全体で取り組む「賃上げ実現・暮らし支援 明日を変える連合緊急アクション」の一環として実施したものです。

要請内容としては主に、

- ①生活困窮者自立支援機関の体制強化
- ②家賃補助、「住まい」の現物サービスなどの支援
- ③NPOなどの支援団体への財政支援
- ④子どもの貧困対策のための包括的支援と相談体制の強化
- ⑤地域と連携した子ども食堂など子どもの居場所づくり

などを各市町と連携して取り組むことを要請しました。

連合では、今次春闘において5%賃上げを掲げてい

ます。物価高も踏まえたしっかりとした賃上げ(人への投資)により労働者の生活を守ると同時に、消費を増やし、経済を回していく。そのためにも2023春闘は必ず勝利しなければなりません。

「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、ともにがんばりましょう。



連合 愛のキャンパ 助成支援団体募集

「連合・愛のキャンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO団体等の事業・プログラムへの支援、および自然災害等による被災者に対する救援・支援を目的としています。

今回、地域助成支援団体(事業)を、下記の通り募集いたします。

【地域助成対象資格】

- 連合組合員及びその家族、OB(家族を含む)が積極的に運営に参加しているNGO・NPO団体等が行う具体的事業プログラム。
- 連合長崎構成組織、地協・ブロックが日常的な活動で連携しているNGO・NPO団体等が行う具体的事業プログラム。

【対象となる活動】

- 規模災害などの救援・支援活動
- 戦争や紛争による難民救済などの活動
- 人権救済活動
- 地球環境保全活動

- ハンディキャップをもった人たちの活動
- 教育・文化などの子どもの健全育成活動
- 医療や福祉などの活動
- 地域コミュニティー活動
(レクリエーション活動を除く)
- 生活困窮者自立支援活動

【募集期間】

- 2023年
1月1日(日)
～ 3月31日
(金)まで

【お問い合わせ】

- 具体的な内容等について、不明な点は連合長崎までお問い合わせ下さい。



連合 愛のキャンパ

中央助成



特定非営利活動法人 サンタビアップ
カンボジアポイヘト地域における学校教育支援(就学支援・社会教育支援)及び自立支援事業



特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会
カンボジア国プレアピハ州における子どもの栄養改善1000日アプローチプロジェクト



一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会
モザンビーク共和国ベンバ寺子屋での配食活動



公益財団法人 日本補助犬協会
身体障がい者補助犬 育成・認定・貸与事業

地域助成



おおつ子どもおにぎり会
子ども食堂&/センター



特定非営利活動法人 生涯発達ケアセンターさんれんぶ
障害児通所支援療育促進教材整備事業



特定非営利活動法人 フードバンクとくしま
ひとり親家庭への生活支援



特定非営利活動法人 サードフィールドさど
佐渡の子供達が遊べる森の自然教育の拠点づくり

多岐にわたる分野・団体への支援活動に役立てられています。 < 2022年:中央助成65団体・地域助成53団体 >

地域コミュニティ活動
(レクリエーション活動を除く)

人権救済活動

教育・文化などの
子どもの健全育成活動

生活困窮者
自立支援活動

大規模災害などの
救援・支援活動

障がいのある人たちの活動

戦争や紛争による
難民救済などの活動

医療や福祉などの活動

地球環境保全活動

— あけましておめでとうございます —



副会長
米村 豊
(自治労)



副会長
長岡 英樹
(U Aゼンセン)



副会長
中川 俊紀
(基幹労連)



副会長
川内ひろこ
(J P労組)



副会長
堀江 信也
(電力総連)



副会長
川瀬 隆文
(情報労連)



事務局長
岩永 洋一
(J P労組)



副事務局長
種村 和久
(自治労)



副事務局長
中嶋 聖子
(自治労)



副事務局長
縄本 恵太
(基幹労連)



副事務局長
西野 輝夢
(電力総連)



執行委員
江島 浩介
(自動車総連)



執行委員
川田 隆往
(電機連合)



執行委員
椎山 和久
(国公連合)



執行委員
山口 裕志
(運輸労連)



執行委員
小川 修生
(フード連合)



執行委員
漢那 太作
(海員組合)



執行委員
田平 賀一
(自治労連)



執行委員
山下 和英
(日教組)



執行委員
野原 秀昭
(交通労連)



執行委員
本多 典雄
(私鉄総連)



執行委員
久木崎 功
(J R連合)



執行委員
橋口 才蔵
(全国ガス)



執行委員
森 忠吉
(全自交労連)



執行委員
溝上 剛治
(長崎私交通労組)



執行委員
木戸 則之
(長崎電気軌道労組)



執行委員
塩田 淑文
(長崎地協)



執行委員
古川 洋介
(佐世保地協)



オブザーバー (地協事務局長代行)
浦本 和明
(佐世保地協)



執行委員
入江 良美
(諫早・島原地協)



執行委員
川本 良美
(大東・杵岐・対馬地協)



執行委員
松山 忠敏
(五島地協)



執行委員
久米美那子
(自動車総連)



執行委員
増本 利恵
(女性委員会・自治労)



執行委員
西崎 愛希
(女性委員会・J P労組)



会計監査
村田 元輝
(自治労)



会計監査
橋田 和廣
(交通労連)



会計監査
小林 照尚
(全労金)



書記
深江 絵美
(連合長崎)



書記
草野 かつみ
(連合長崎)



オルガナイザー
宮崎 辰弥
(連合長崎)

2023年皆さんとともに頑張ります！よろしくお祈りします。